

【2024年6月6日】

《在ポートランド日本国総領事表敬訪問》

市長訪問団および経済関係団体などとともに、吉岡 雄三 総領事を表敬訪問し、ポートランド市を中心とした現地の情勢について説明を受け、意見交換を行った。

吉岡総領事からは、オレゴン州およびポートランド市の概要説明とともに、ポートランド市では、2025年1月に市内に4つの選挙区を設け、各地区から3名の市議会議員(計12名)を選出し、各部局については、市長と新設されるシティ・マネージャー(city administrator)が担当するという大きな機構改革を行うとの説明があった。これにより、これまで以上に幅広い形で市民の声を生かしたまちづくりを進めていくとのことであった。

飯島団長から、「ポートランド市と札幌市は、1959年の姉妹都市提携以来、長きにわたり活発な交流が続けられてきたことは、吉岡総領事をはじめとする歴代の総領事、また、領事事務所の皆さんが、日米両国の緊密かつ友好的な関係を築きあげていただいた賜物である」との感謝を述べ、これからも引き続き、ポートランド、札幌両市の相互交流にご尽力をいただきたいことをお願いした。

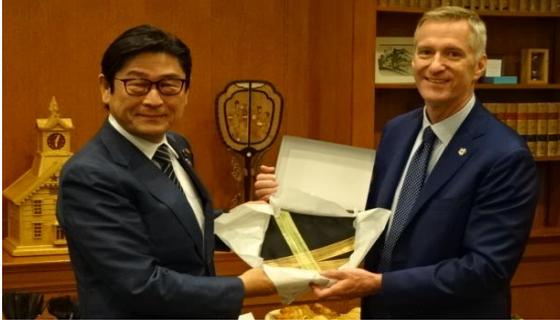


《ポートランド市長表敬訪問》

市長訪問団および経済関係団体などとともに、市庁舎を訪れ、同市との姉妹都市提携65周年を記念し、テッド・ウィーラー市長を表敬訪問した。

テッド・ウィーラー市長、秋元市長の挨拶に続き、意見交換を行った。テッド・ウィーラー市長からは、多くの訪問団が訪れたことについて、「本当のパートナーシップというものが示されていると思う。」と感謝の言葉が述べられるとともに、秋には訪問団を結成して札幌市を訪れることを楽しみにしているとの挨拶があった。

飯島団長から、「ポートランド市は札幌市にとって最初の姉妹都市であり、以来、両市民は65年の間、教育、文化、経済、スポーツなどの様々な分野で交流を続けてきた。その積み重ねてきた交流により、両都市は互いに学び、成長し、共に発展してきた歴史がある。今回の訪問を通じて、両市の絆が、さらに深まることを期待している。」との挨拶を述べ、これからも引き続き、ポートランド、札幌両市の素晴らしい交流が続いていくことをお願いした。



《Office of Civic and Community Life(コミュニティ・市民生活局) 訪問》

ポートランド市における移民、多様性、支援政策を担当する Office of Civic and Community Life(コミュニティ・市民生活局)を訪問した。

所管事業とともに、地方行政は常にコミュニティのニーズに応じて変わっていくものであること。必要なところに必要なリソースをつなげる取組が重要であること。移民や難民が生活になじみ、活躍できるような支援に取り組んでいることなどの説明があり、意見交換を行った。



《ポートランド市主催姉妹都市連合式典・レセプション参加》

市長訪問団および経済関係団体などとともに、市庁舎1階アトリウムで行われたポートランド市が提携する全姉妹都市協会との連合式典・レセプションに参加した。

各代表からの挨拶があり、札幌市を代表して秋元市長が挨拶を行った。

また、全姉妹都市の代表が友好関係を確かめ合う覚書に署名をした。



《オレゴン日米協会訪問》

1907年に設立されアメリカで3番目に古い日米協会であるオレゴン日米協会を訪問した。

同協会からは、オレゴン州とワシントン州の南西地区を担当していること、アメリカでは、寄付やボランティアをすることで地域社会の発展に貢献する文化が根づいているとの説明があった。

また、企業を対象とした「ビジネスプログラム」、若い世代を対象とした「教育プログラム」、日本文化を紹介する「文化プログラム」を中心に事業に取り組むとともに、各事業の実例紹介があり、意見交換を行った。



《IRCO（移民難民コミュニティ組織）訪問》

移民や難民への支援を行う組織である IRCO を訪問した。就労などの移民支援、英語教育による言語サポートや、地域社会に受け込むための支援策などについて説明を受け、意見交換を行った。



《在ポートランド領事事務所・ポートランド-札幌姉妹都市協会共同歓迎レセプション参加》

在ポートランド領事事務所が入居する WELLS FARGO CENTER において、ポートランド領事事務所およびポートランド-札幌姉妹都市協会共同歓迎レセプションが開催され、市長訪問団並びに経済関係団体などとともに参加した。

ポートランド市からは、ダン・ライアン コミッショナーをはじめ、吉岡総領事、姉妹都市協会関係者などが参加した。

ダン・ライアン コミッショナー、秋元市長、ソフォン・チェン ビジネスオレゴン局長の挨拶の後、飯島団長による乾杯でレセプションが盛大に始まった。



【2024年6月7日】

《コロンビアスポーツウェアカンパニー訪問》

オレゴン州で生まれたアウトドア製品会社のコロンビアスポーツウェアの本社を訪問した。アジア地域の担当者から、同社の事業概要とともに、ポートランド市と札幌市の2つの都市名を合わせたウィンターシューズ「SapLand(サップランド)」の開発経緯などに関する説明があり、その後、施設内の見学を行った。



《ラムリサーチ訪問》

世界的な半導体製造メーカーであるラムリサーチを訪問した。同社の事業概要、アジア地域とのつながりの重要性、日本の拠点などへの投資、人材育成に関する説明があり、その後、施設内の見学を行った。



《プロスパー・ポートランド訪問》

ポートランド市の経済開発戦略を担い、クリーンエネルギー産業支援などに取り組んでいるプロスパー・ポートランドを訪問した。産業支援策やエネルギーの貯蔵、浮体式洋上風力発電などのエネルギー分野に関する取組などの説明があり、意見交換を行った。



《ビジネスオレゴン訪問》

オレゴン州政府の経済開発局であり、スタートアップ起業家の育成や外国企業誘致などを行っているビジネスオレゴンを訪問した。

企業の維持・拡大・勧誘、輸出の促進と国際貿易、産業の研究開発、新興企業への投資、中小企業への技術的な支援、芸術文化団体への支援を行っていることなどについて説明があり、意見交換を行った。



《ポートランド日本庭園訪問および同庭園主催レセプション参加》

市長訪問団などとともにポートランド市内を見下ろすワシントン公園内にある「ポートランド日本庭園」を訪問した。多くの観光客が来園し賑わっており、議会訪問団は、ボランティアガイドの案内により、施設の概要について説明を受けた。訪問日には、NPO 法人 北海道を発信する写真家ネットワーク「THE NORTH FINDER」が開催する写真展「Vision of Place」が園内にて開催されていた。

また、日本庭園主催によるレセプションが開催され、同庭園CEOであるスティーブ・ブルーム氏およびテッド・ウィーラー市長、秋元市長からの挨拶の後、姉妹都市提携 65 周年を記念するメッセージを短冊に記入し、園内にあるWishTree に結び付けた。その後、参加者もそれぞれの願いを込めた短冊を結び付けていた。



【2024年6月8日】

《ファーマーズマーケット訪問》

ポートランド州立大学構内で開催されているファーマーズマーケットを訪れた。有機農法による野菜などの出店が多く、早朝から多くの市民で賑わっていた。



《ローズフェスティバル「グランド・フローラル・パレード」参加》

バラの町・ポートランド市において開催される、「ローズフェスティバル」のメインイベントである、「グランド・フローラル・パレード」が行われた。同パレードでは、秋元市長がオープンカーに乗車し、パレードスタートのメモリアルコロシウムから、ゴールとなるロイドセンターまでの約2時間半にわたり行進した。議会訪問団は、姉妹都市提携30周年を記念して札幌市からポートランド市に寄贈した平和の鐘のあるオレゴン・コンベンションセンターからパレードを観覧した。



《ケネディスクール訪問》

廃校となった小学校跡地をホテルや映画館、貸館など地域の活動拠点の場などにリノベーションした複合施設であるケネディスクールを訪問した。施設内は、小学校として使用されていた当時の装飾や黒板などが残されるとともに、教室を2つの部屋に仕切り宿泊部屋にするなどの工夫がされていた。また、貸館では、結婚式や同窓会など、地域住民による利用が多く行われているとのことであった。



《ポートランド-札幌姉妹都市協会主催フェアウェルレセプション参加》

ポートランド-札幌姉妹都市協会主催によるフェアウェルレセプションが、ポートランド州立大学構内のカール・ミラー・センターで行われ、市長訪問団などとともに参加した。

姉妹都市協会や領事事務所、市立高校と交流予定のグラント高校の学生などと、今回の訪問の思い出や今後の継続的な交流について意見交換を行うとともに、参加者による盆踊りを披露するなど交流を深めた。

